

## 中嶋國弘君が日本原子力学会炉物理部会賞を受賞しました

中嶋國弘君は、日本原子力学会 2023 年秋の大会（名古屋大学）において、「令和 5 年度炉物理部会賞奨励賞」を授与されました。この奨励賞は、原子炉物理学分野の研究等において積極的かつ優れた活動と成果が認められた若手研究者を顕彰するものです。「核破碎中性子源の非ポアソン性を考慮した加速器駆動未臨界炉体系に対する原子炉雑音解析」と題する受賞件名が示す様に、世界に先駆けて、核破碎中性子源駆動原子炉に対する炉雑音解析実験研究を実施し、核破碎中性子源の非ポアソン性指標を初めて実験的に算出した成果が高く評価されました。おめでとうございます！

中嶋君は、原子力研究所において 6 年半の長きにわたり原子炉物理実験研究に取り組み、令和 4 年 3 月に本学総合理工学研究科後期課程を修了し、博士（工学）を授与されました。彼は、大学院在籍中に、学術雑誌論文 12 編、国際会議論文 12 編、学会大会発表 32 件と驚くべき優れた研究成果をおさめています。また、彼の貢献は研究に止まらず、新規性基準適合確認後の本学原子炉運転再開時のメディア対応、人材育成事業への協力、エネルギー研究会 NEDE への支援、原子力知識普及活動、原子力研究所配属学生への修学・研究指導と多岐に亘っています。有難うございました！

中嶋君は、現在、日本原子力研究開発機構高温工学試験研究炉部（HTTR）に勤務しています。水素社会実現のためにも、高い安全性を有する高温ガス炉の実用化を目指して飛躍し続けて下さい。



原子力研究所の研究教育の歴史に大きな足跡を残した中嶋國弘君

（文責：橋本憲吾）